



県市町文協選抜芸能祭に向けたリハーサルで舞台上に並ぶ越前市内の文化団体の出演者ら。13日夜、同市文化センター

越前市で25日に開かれる本年度の県市町文協選抜芸能祭に向け、吟詠や書道、華道、剣詩舞などの市内文化団体が合同ステージの練習に励んでいる。高校生、ふんずる紫式部が案内役となり、音楽や舞踊を通じて地元の歴史や産業をアピールする。市ゆかりの紫式部が主人公のNHK大河ドラマが放送される2024年に向け、「地元が盛り上がる弾みにしたい」と張り切っている。

(細川善弘)

# 歴史や産業

25日、越前市で県芸能祭

# 式部が紹介

県内各市町の文化団体が集う同芸能祭は、新型コロナウイルスの影響による中止を経て3年ぶりの開催。主催する越前市文協が今年初めごろから、合同ステージの準備を進めてきた。13団体の約80人が出演する。ステージのテーマは「越の都 つなぐ文化と匠の技」。冒頭は、紫式部が残

ちの明るい未来を表現する。

紫式部役を務めるのは、武生東高放送部の2年生で放送の全国大会にも出場した東川実咲さん。十二単姿で各演目の台間のナレーションを担当し、ドラマ仕立てで市の魅力を伝える。13日夜に市文化センターで行われたリハーサルに参加し、「楽しみ半分、緊張半分。普段よりゆっくりにした時代に合った『読み』を心掛けたい」と気持ちを高めていた。

## 市内13文化団体 合同舞台へ練習に熱

紫式部の大河ドラマ放送決定に、市文協の黒崎洋典会長は「以前から企画してきた舞台の内容が、いいタイミングに重なった」。認知度向上や誘客に向けた市民参加の動きが期待される中、「地元」の紫式部ブームの先駆けになれたらうれしい」と話している。

県市町文協選抜芸能祭は25日正午から、越前市文化センターで開催。17市町の文化団体の約350人が出演する。入場無料。

### 夜の宴盛り上げて

### ダンス出演者募る

30日、越前市武生中央公園夜の公園でお酒とダンスを楽しむイベント「ダンス・パーティー・ナイト」(福井新聞社後援)は30日夜、越前市武生中央公園で開かれる。宴を盛り上げるダンスの出演者を募集している。

同公園の指定管理者になっている共同事業体「越前パークス」が企画。「パブ

リック・パークを取り組む公園をちづくりの一環に市民が交流つくることで、向上を目指して公募で集まっ

公募で集まっ  
だるまちゃん  
エリアでダン  
てもらう。エ  
むようにテー  
し、来場者に  
見ながらキッ  
リパリーの食  
もらう。

### 議員報酬増の見解

### 越前市会 年度内手続き

越前市議会活性化特別委員会は20日、改選後初となる議論を行い、議員のなり手不足改善などのため議員報酬を増額することが望ましいとする改選前の市会の見解を踏襲し、議論を深めていくことを確認した。

市民の理解も得ながら、年度内の改定手続きを目指す

とされている。

市会は5月、定数と議員報酬数は現行の22左(38万7千円)口類似都市よにあることも額が望ましいまとめた。7日新たな市議再度議論する

血良他又来手まよ佳持

した。市は2024年度以降設計、工事に入りたい

回会合を開く。市は同検討委の意見を踏まえ、改めて

市民への説明会を開くとし

特別委は、一